

コロナ暇^か

見すごしていたのだ
あまりにも速く
歩いてきたから

見ているようで
なにも見えていなかった
前ばかり 見ていたから

あの日から 桜が散りゆき
タンポポが咲いて
ハルシオン 菖蒲そして紫陽花

歩道の脇には
草がワツサワツサと茂り
きいろ、白 ピンク 水色

かたちも大きさも
その存在のどれもが
一様ではなくて

ときには 立ちどまり
ときには しゃがんで
ときに手を伸ばしたりして

太陽を背に顧みて
刹那を大地に刻み
五月の風と戯れる

時と手をつなぎ
縦横自在に泳ぐ
禍からの贈りもの

かしこ